

# 令和5年度 第2回 徳島県GIGAスクール構想推進本部会議

徳島県GIGAスクール構想推進本部事務局

---



# 次 第

---

日時 令和5年11月24日（金） 午後2時から午後3時15分まで

## 1 開 会

## 2 開会挨拶

## 3 協 議

- (1) GIGAスクール構想状況調査について
- (2) 各部会の取組の進捗状況等について
- (3) その他

## 4 閉 会

# 出席者名簿

所属及び役職	氏名(敬称略)	備考
徳島県教育委員会 教育長	榊 浩一	
徳島県市町村教育委員会連合会 会長	松本 賢治	欠席
徳島県市町村教育委員会連合会 副会長	大島 千文	代理出席
徳島県教育委員会 副教育長	阿部 淳子	
徳島県小学校長会 会長	木屋村 雅信	欠席
徳島県小学校長会 副会長	山川 育英	代理出席
徳島県中学校長会 会長	小川 善弘	欠席
徳島県中学校長会 副会長	山田 匠	代理出席
徳島県高等学校長協会 会長	藤本 和史	
徳島県特別支援学校長会 会長	名山 優	
徳島県教育委員会 教育次長(県立学校担当)	中野 敏章	
徳島県教育委員会 教育次長(小中学校担当)	生田 雅和	
徳島県教育委員会 教育政策課 課長	内海 はやと	
徳島県教育委員会 教職員課 課長	西浦 利幸	
徳島県教育委員会 学校教育課 課長	酒井 吉彦	
徳島県教育委員会 学校教育課 グローバル文化創造幹	寺澤 昌子	

# 出席者名簿

所属及び役職	氏名(敬称略)	備考
徳島県教育委員会 学校教育課 学力向上推進室 室長	上岡 祐司	
徳島県教育委員会 特別支援教育課 課長	田中 清章	
徳島県教育委員会 人権教育課 課長	久保 義博	
徳島県立総合教育センター 特別支援・相談課 班長	島 一輝	
徳島県教育委員会 体育健康安全課 課長	鳴川 幸恵	
徳島県教育委員会 生涯学習課 課長	倉橋 文代	
徳島県立総合教育センター 所長	元山 茂樹	
徳島県立総合教育センター 学校経営支援課 課長	大栗 直子	
徳島県立総合教育センター 教職員研修課 課長	住友 咲子	
徳島県立総合教育センター GIGAスクール推進課 課長	多田 巧	

## 【事務局】徳島県教育委員会 学校教育課 GIGA・学び創造担当

武田浩明、赤澤昌宏、清水将仁、岸政樹(小)、二宮正太(中)、播磨敬二(高)、山下芳紀(情)、片山文男(チーム)

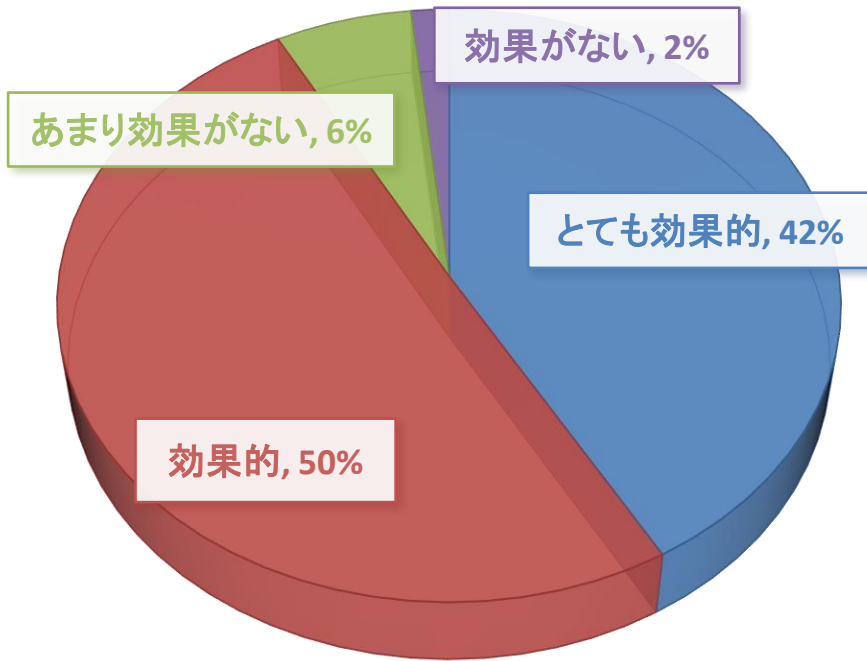
# GIGAスクール構想状況調査について(小学校)

調査期間：令和5年10月3日～26日

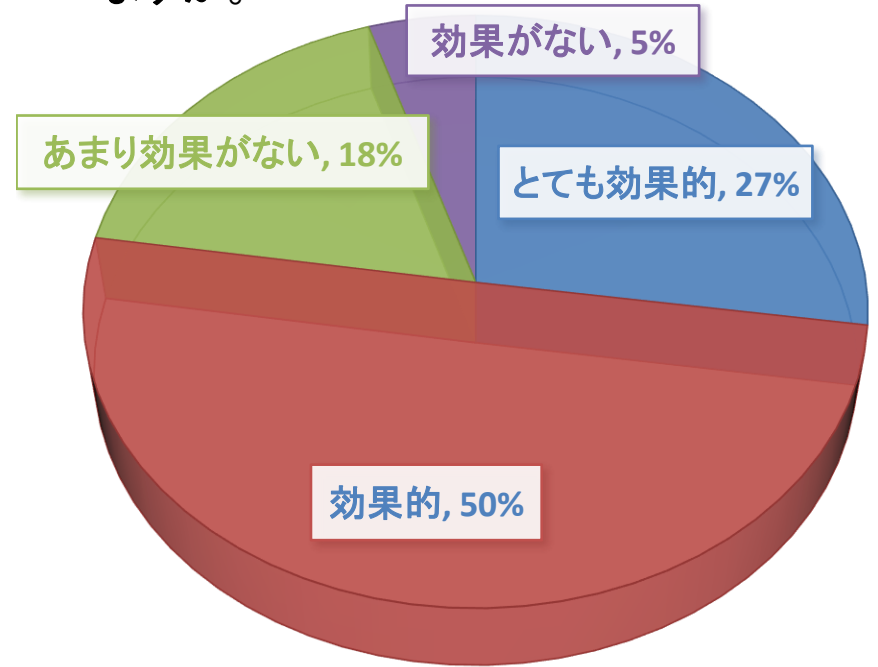
対象：小学校5・6年生

回答数：7,556人

Q4.学校の授業等でタブレットやPCを使うことについて、あなたはどのように思いますか。

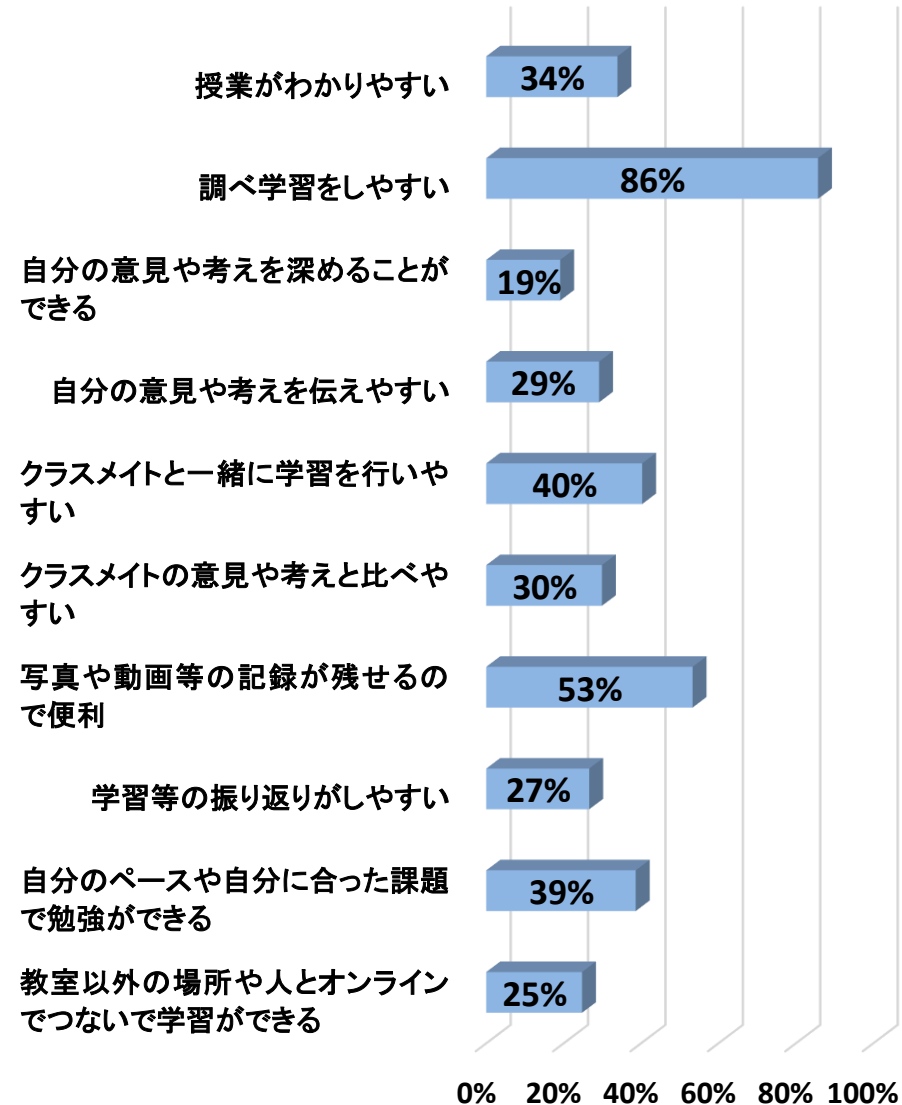


Q7.家庭学習(持ち帰り)等でタブレットやPCを使うことについて、あなたはどのように思いますか。

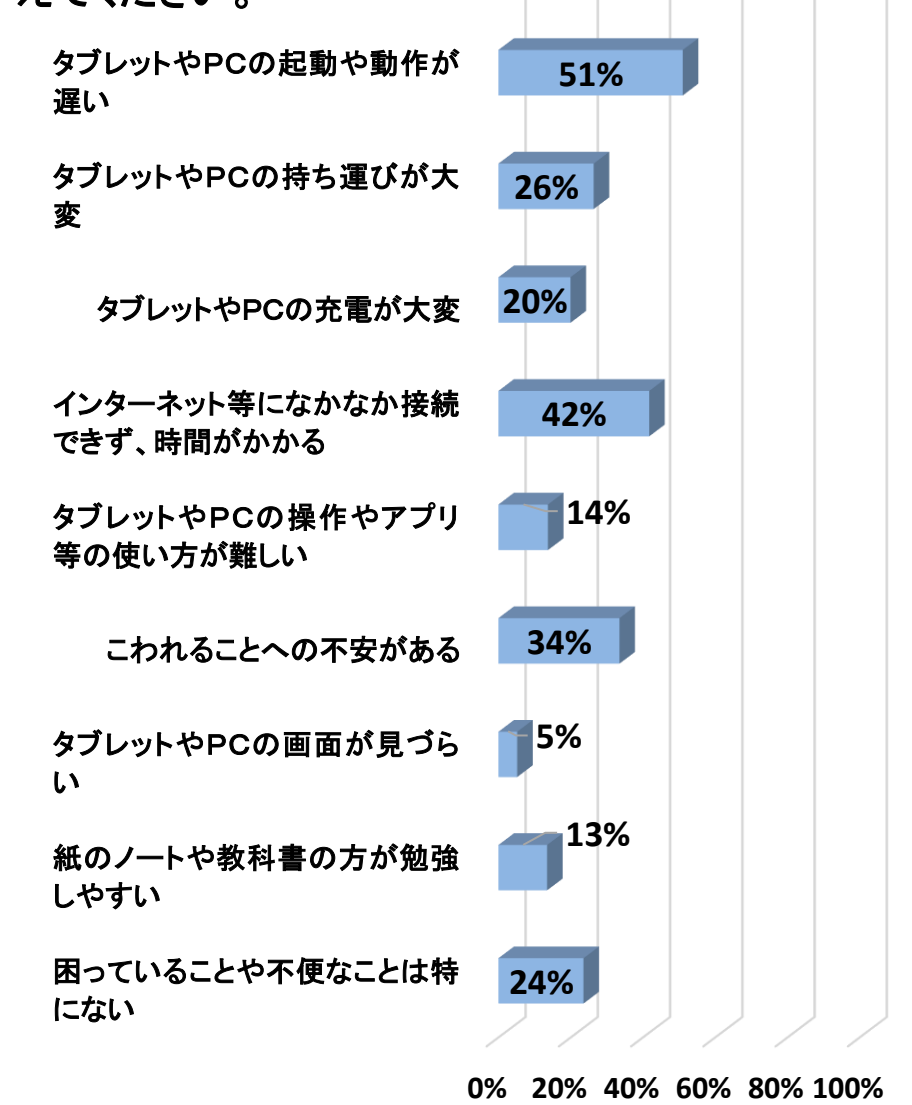


# GIGAスクール構想状況調査について(小学校)

Q5.学校の授業等でタブレットやPCを使うことについて、よいと思うことを教えてください。



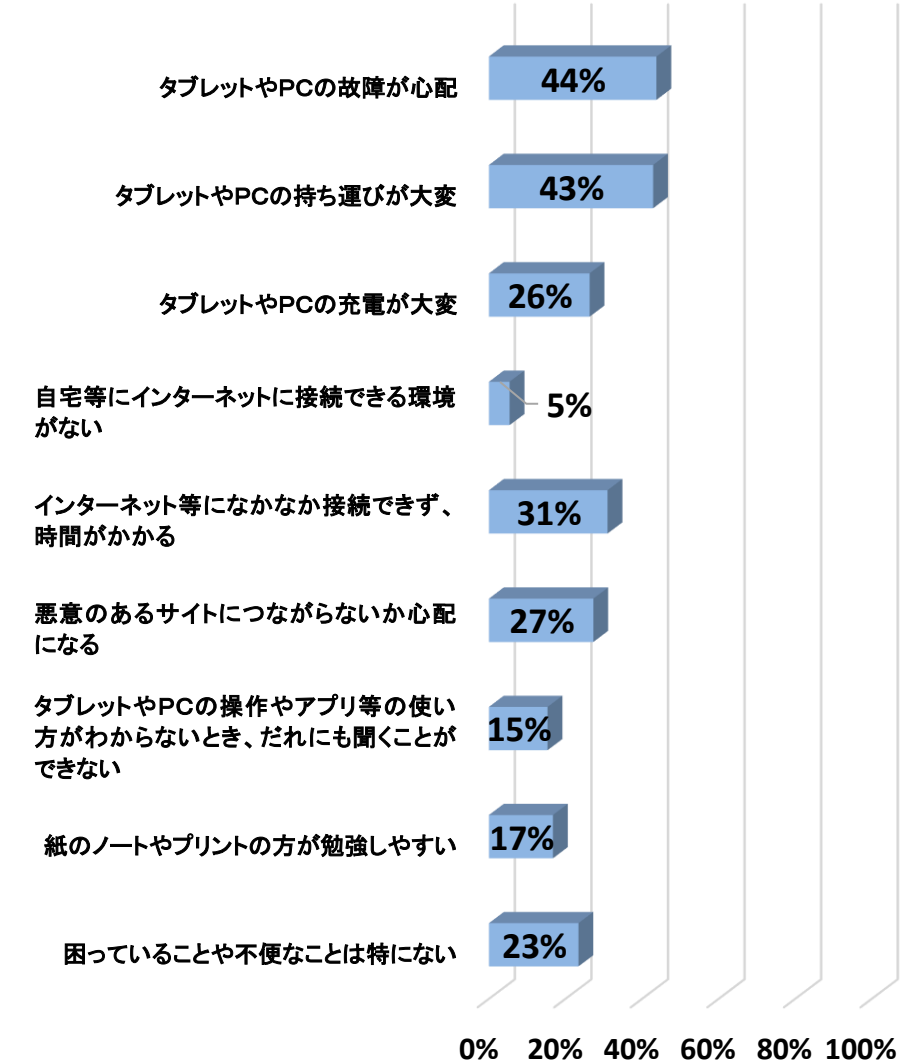
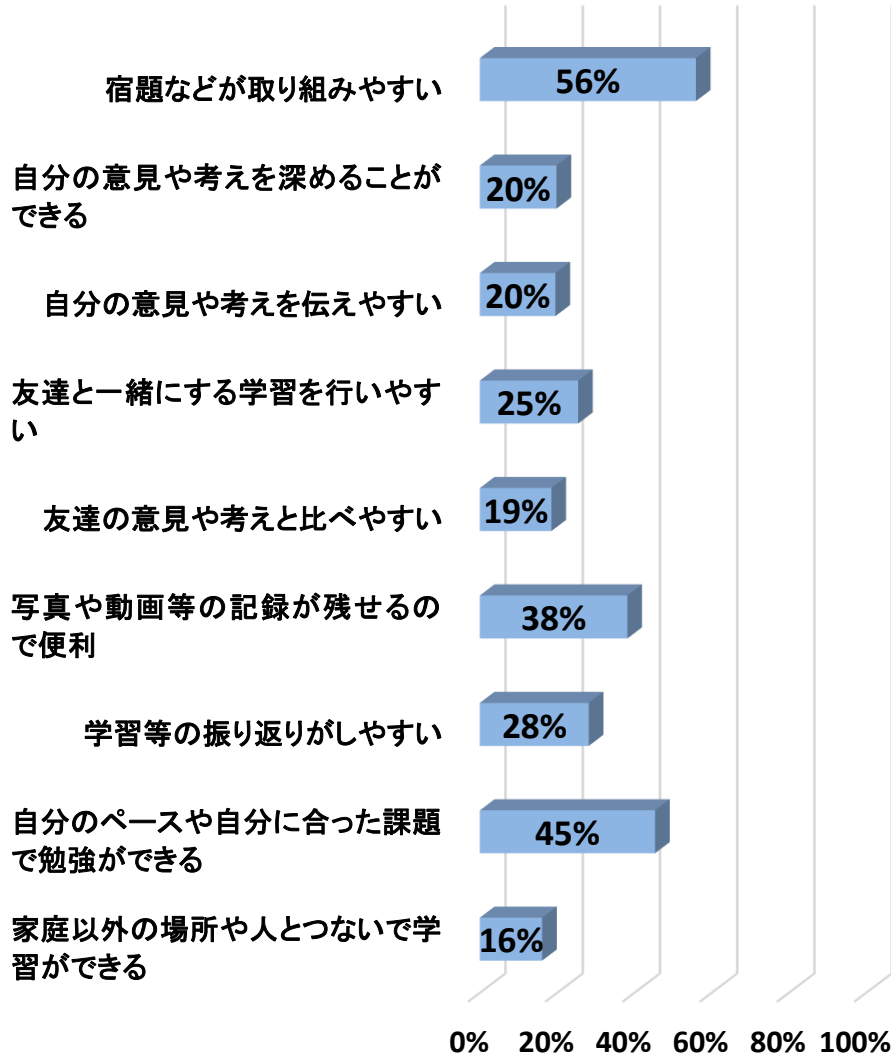
Q6.学校の授業等でタブレットやPCを使うことについて、困っていることや不便なことがあれば教えてください。



# GIGAスクール構想状況調査について(小学校)

Q8.家庭学習(持ち帰り)等でタブレットやPCを使うことについて、よいと思うことを教えてください。

Q9.家庭学習(持ち帰り)等でタブレットやPCを使うことについて、困っていることや不便なことがあれば教えてください。

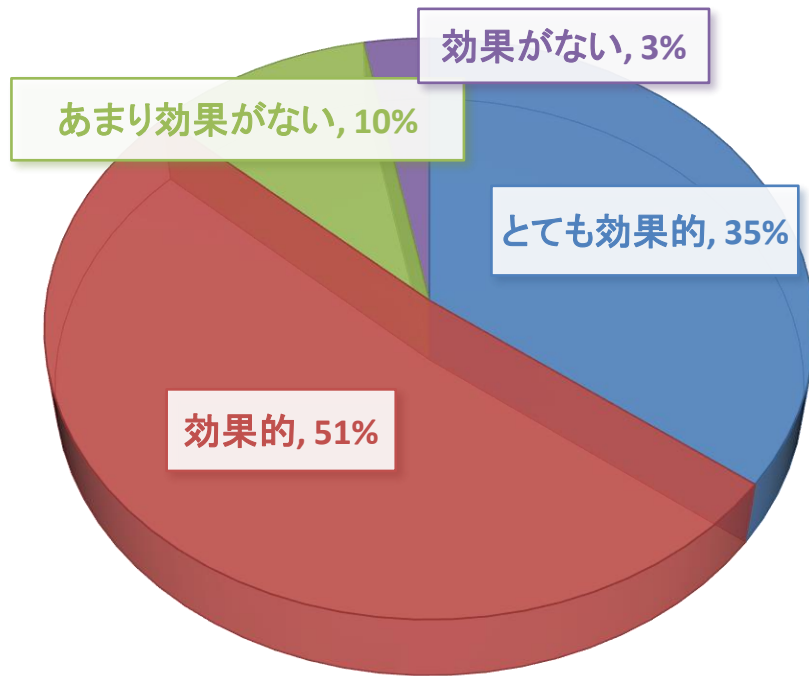


# GIGAスクール構想状況調査について(中学校)

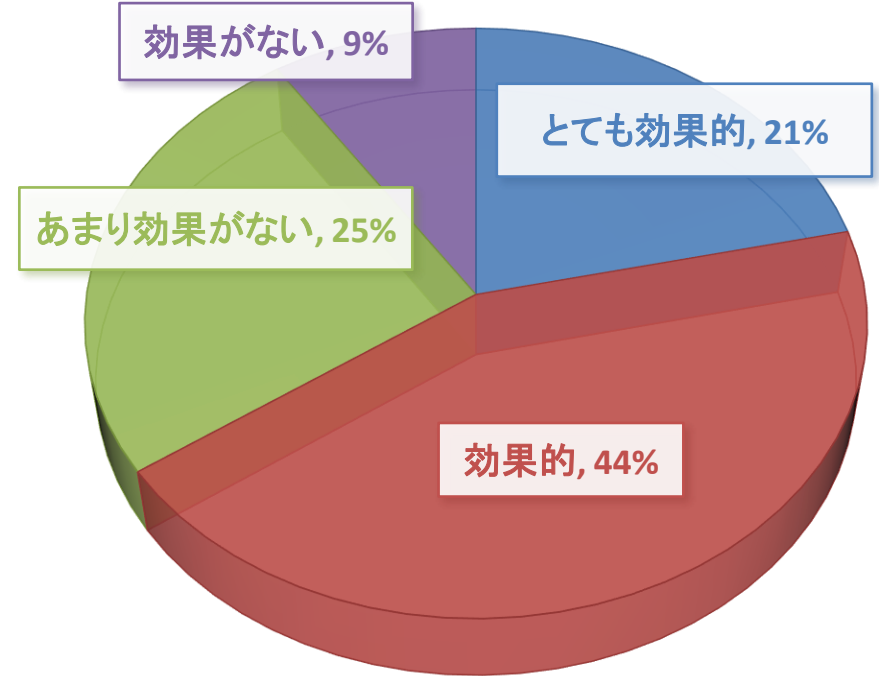
調査期間：令和5年10月3日～26日

対象：中学校・中等教育学校1・2・3年生 回答数：9,744人

Q4.学校の授業等でタブレットやPCを使うことについて、あなたはどのように思いますか。



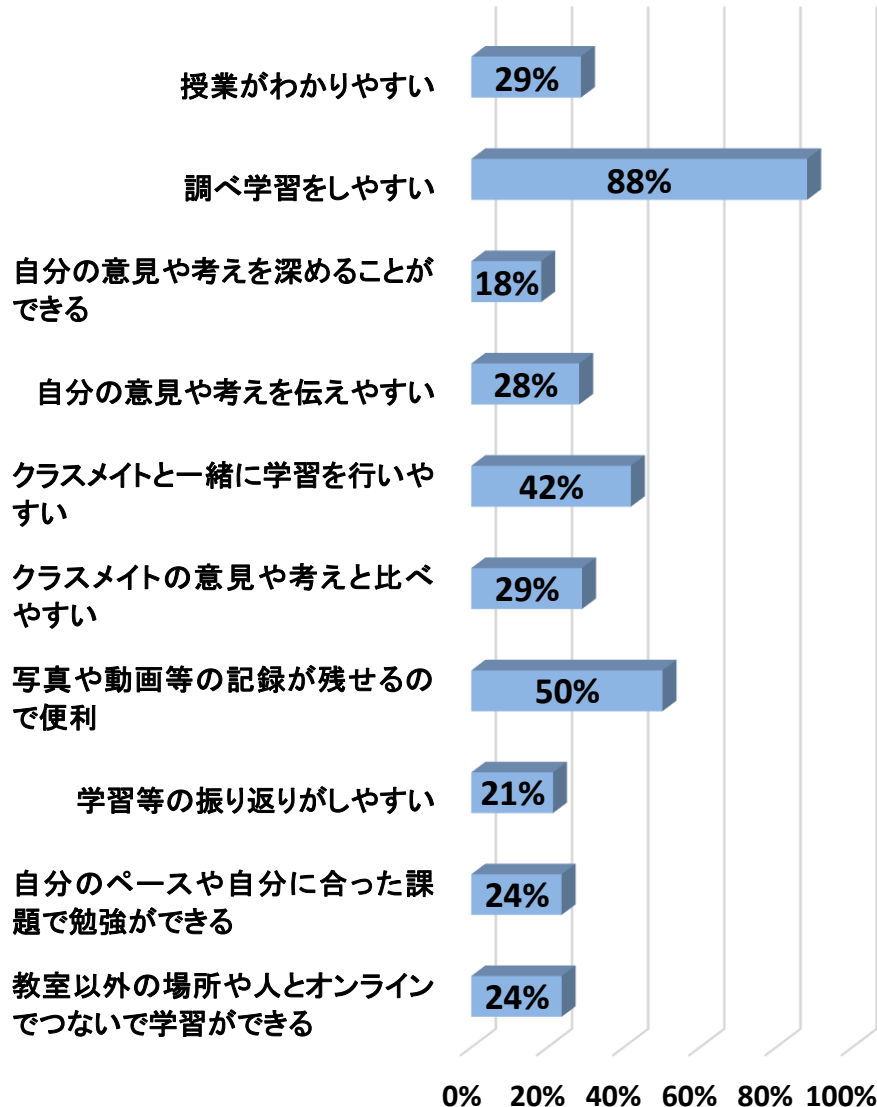
Q7.家庭学習(持ち帰り)等でタブレットやPCを使うことについて、あなたはどのように思いますか。



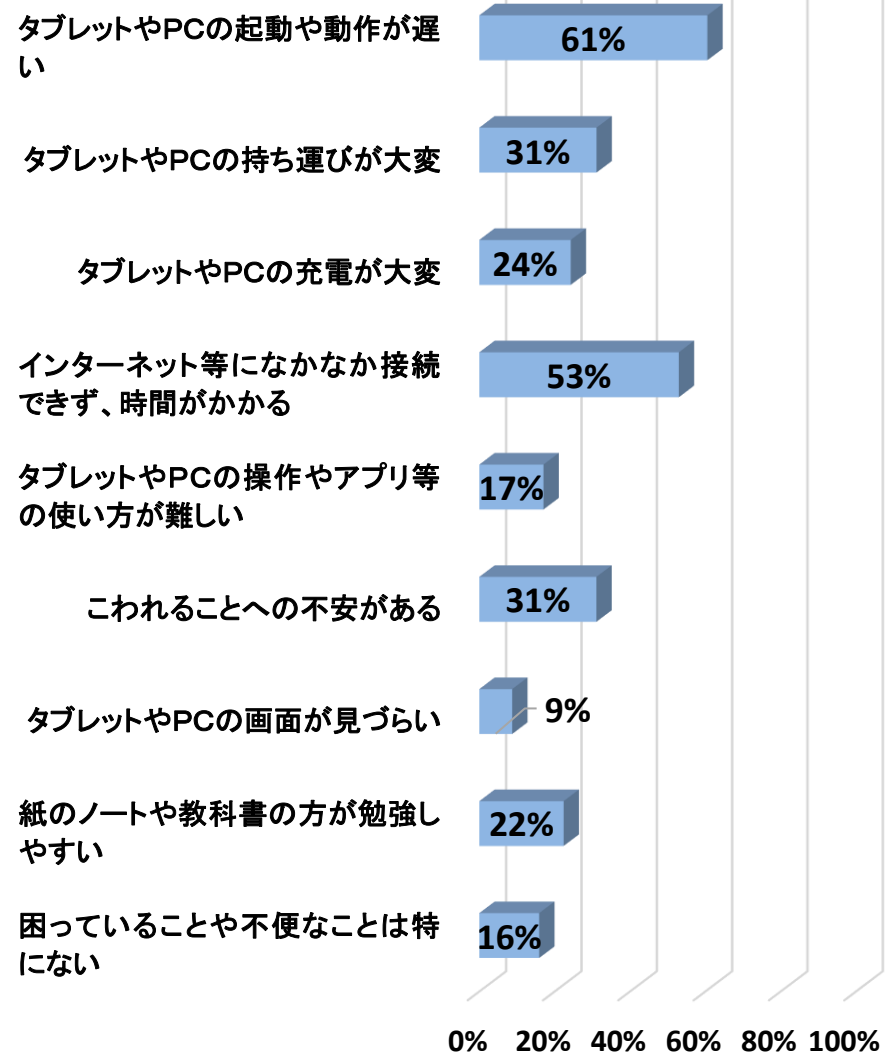


# GIGAスクール構想状況調査について(中学校)

Q5.学校の授業等でタブレットやPCを使うことについて、よいと思うことを教えてください。

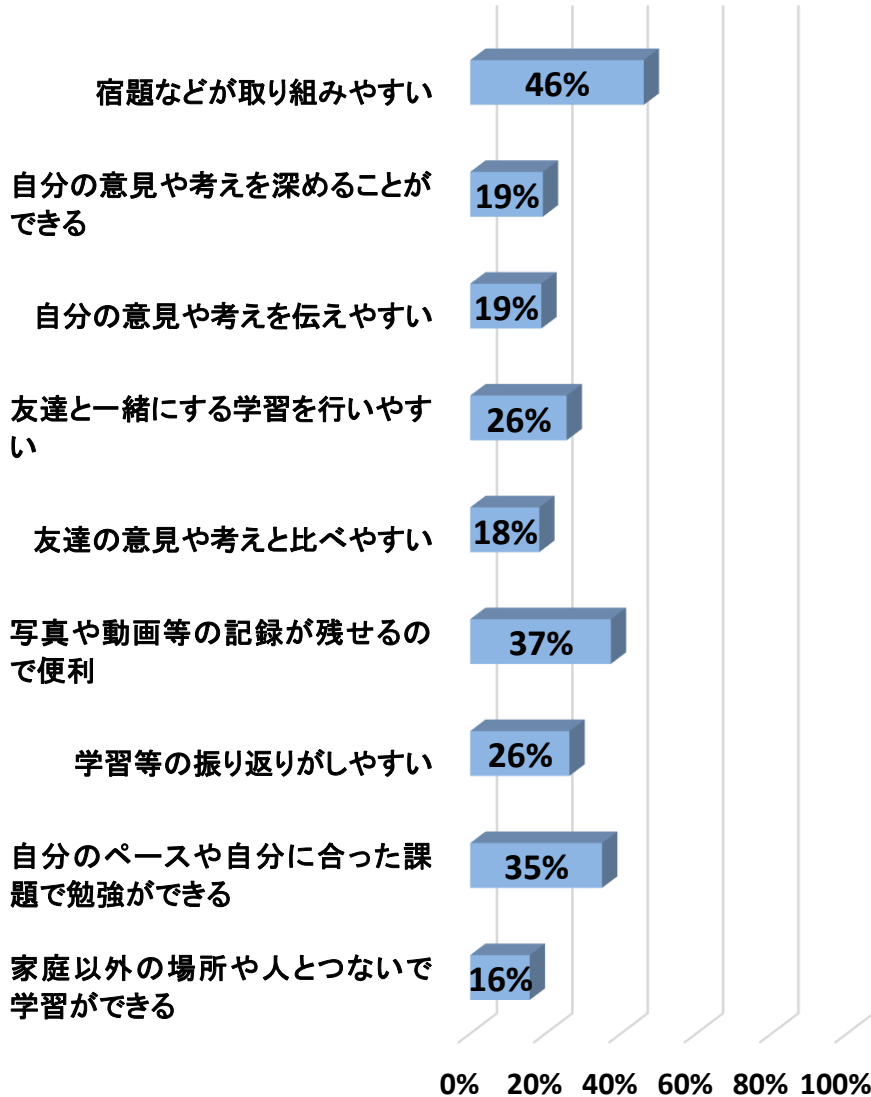


Q6.学校の授業等でタブレットやPCを使うことについて、困っていることや不便なことがあれば教えてください。

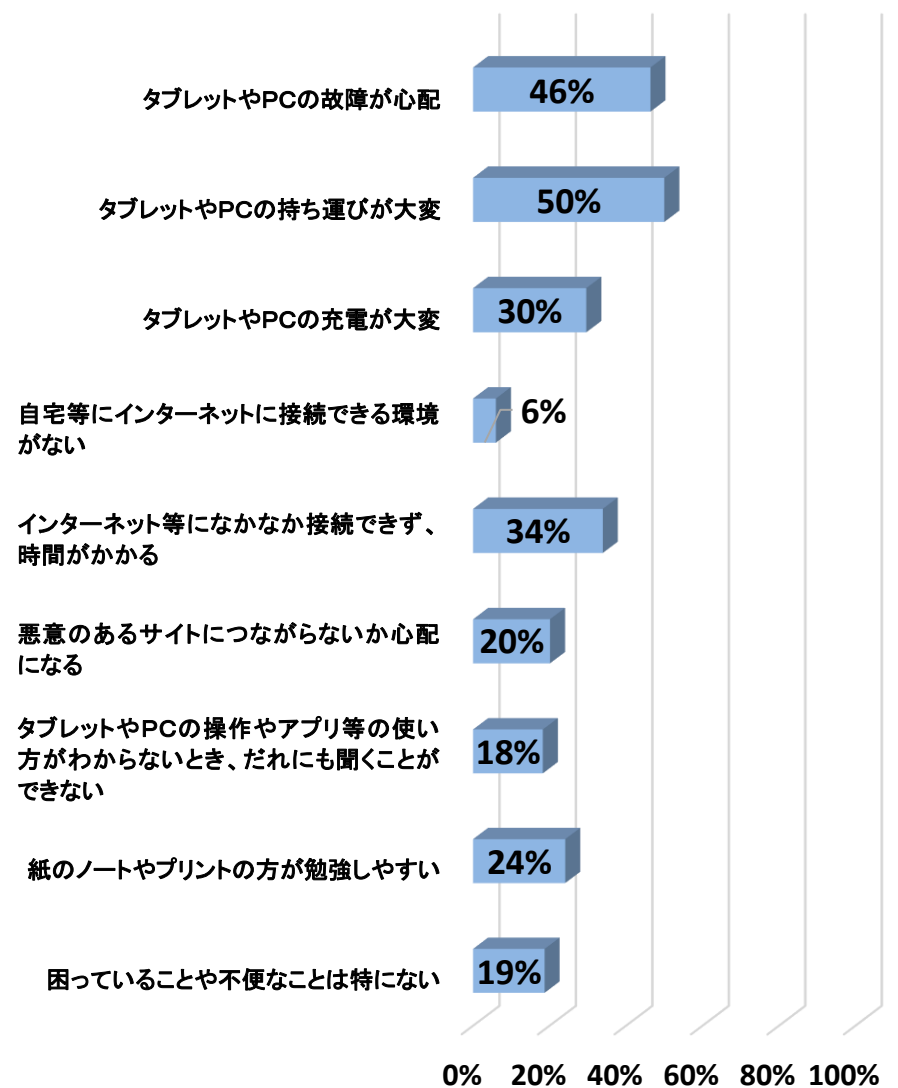


# GIGAスクール構想状況調査について(中学校)

Q8.家庭学習(持ち帰り)等でタブレットやPCを使うことについて、よいと思うことを教えてください。



Q9.家庭学習(持ち帰り)等でタブレットやPCを使うことについて、困っていることや不便なことがあれば教えてください。

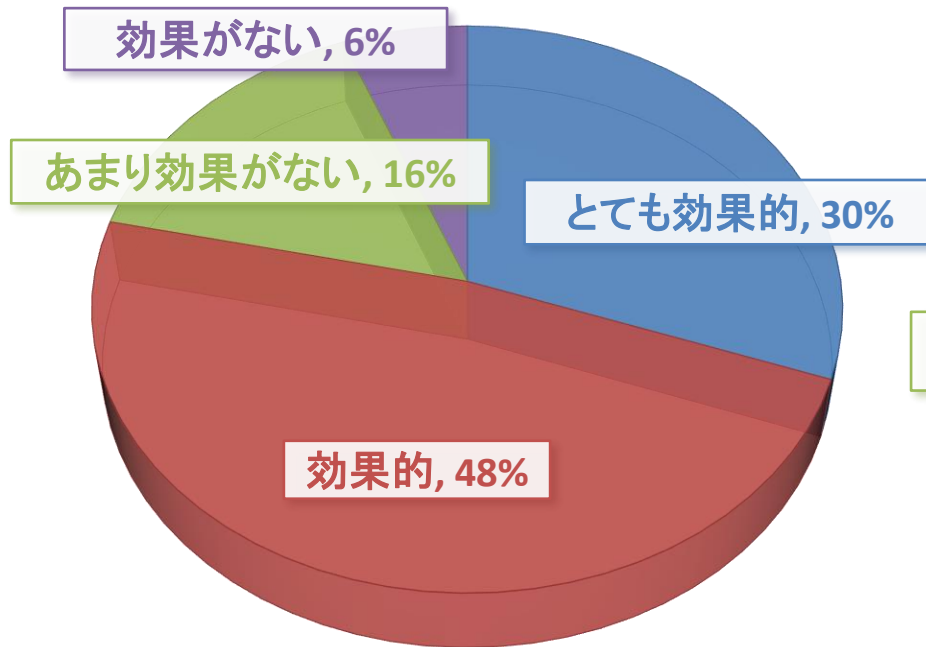


# GIGAスクール構想状況調査について(高校等)

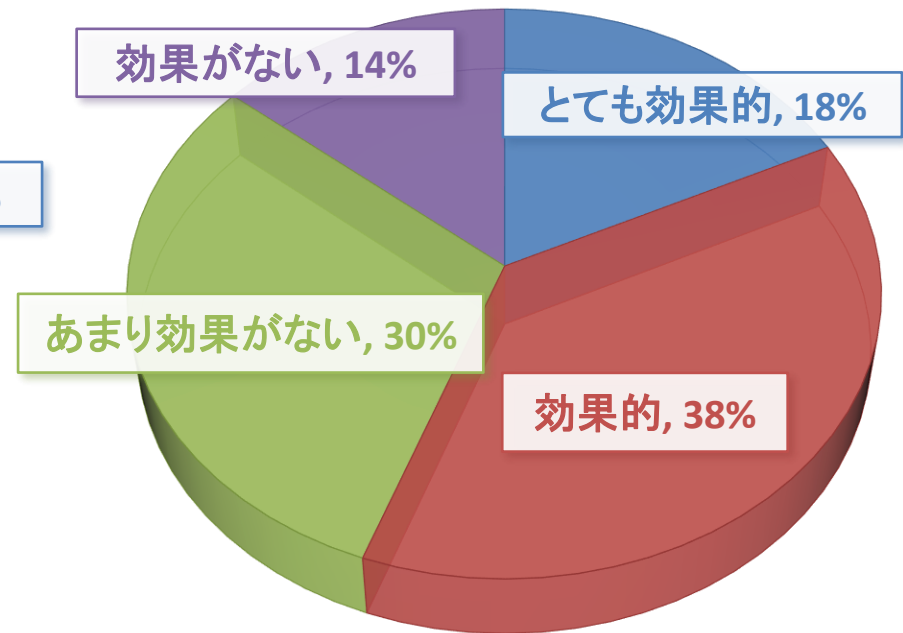
調査期間：令和5年10月3日～26日

対象：高校1・2・3年生、中等教育学校4・5・6年生 回答数：9,349人

Q4.学校の授業等でタブレットやPCを使うことについて、あなたはどのように思いますか。

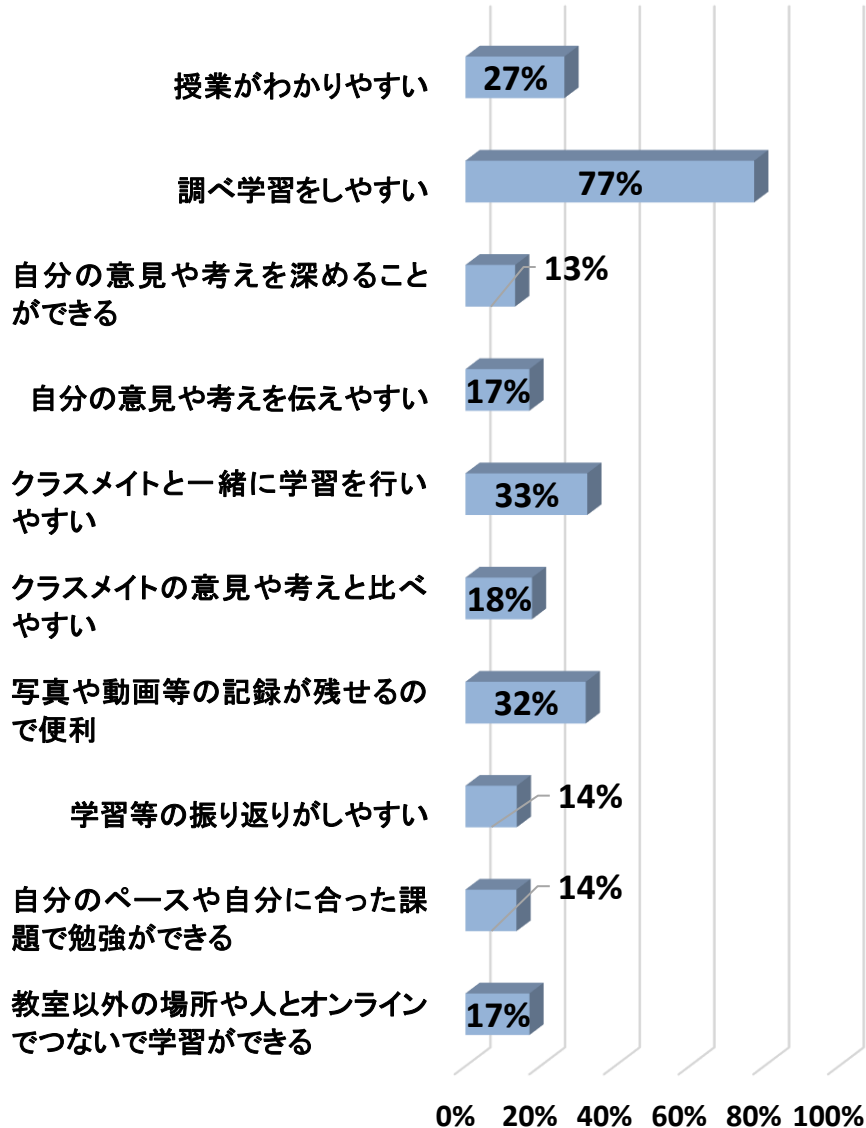


Q7.家庭学習(持ち帰り)等でタブレットやPCを使うことについて、あなたはどのように思いますか。

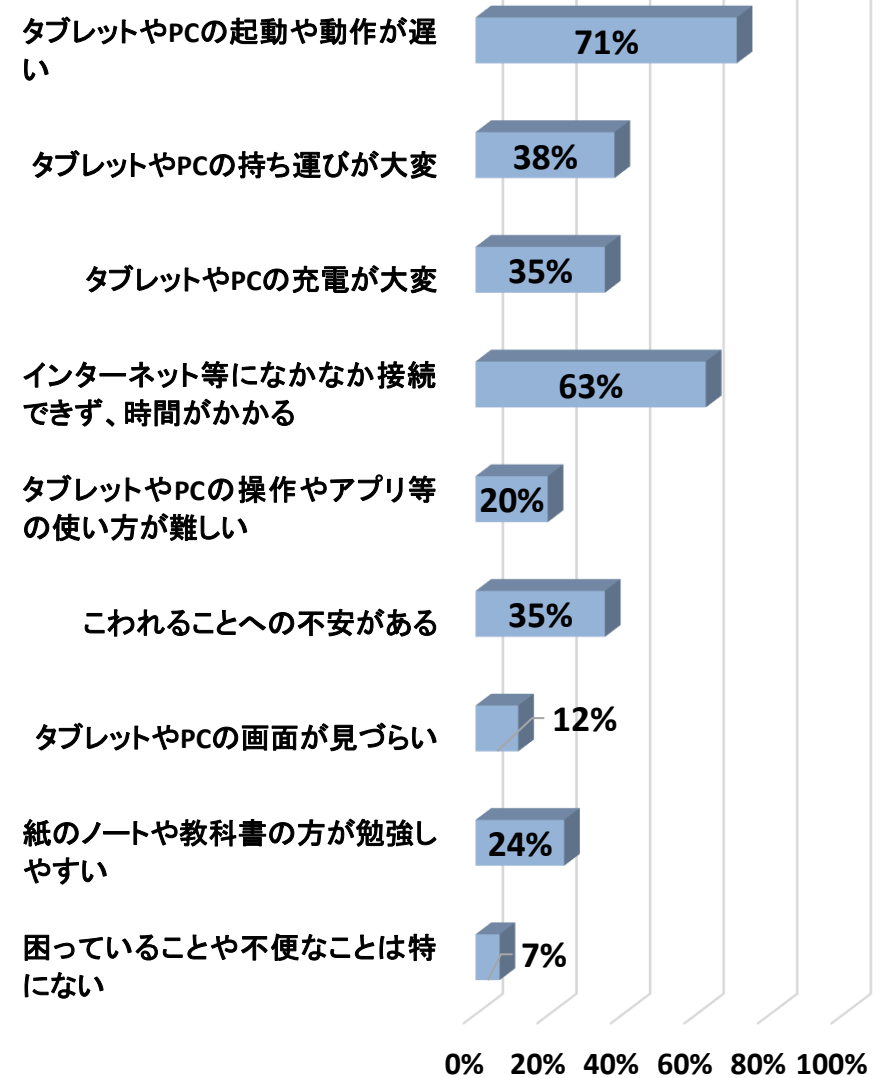


# GIGAスクール構想状況調査について(高校等)

Q5.学校の授業等でタブレットやPCを使うことについて、よいと思うことを教えてください。



Q6.学校の授業等でタブレットやPCを使うことについて、困っていることや不便なことがあれば教えてください。

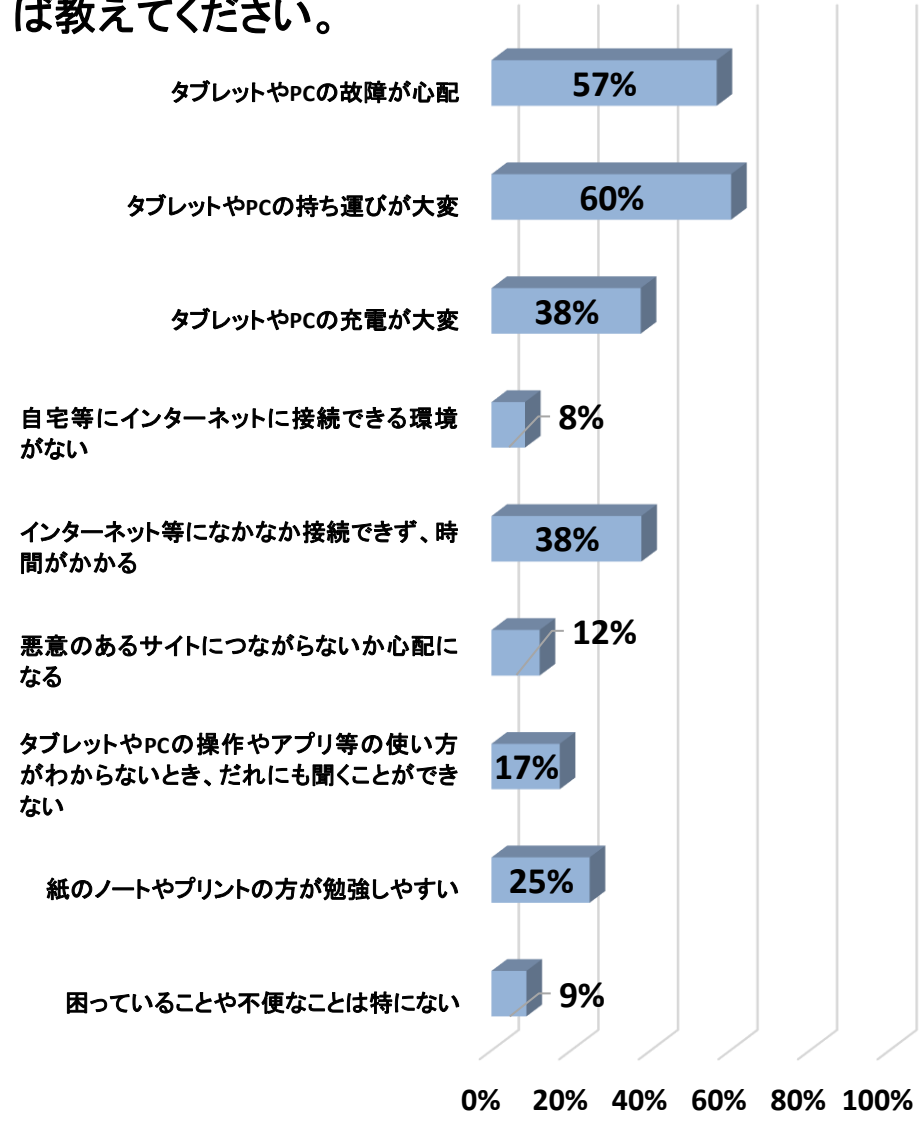


# GIGAスクール構想状況調査について(高校等)

Q8.家庭学習(持ち帰り)等でタブレットやPCを使うことについて、よいと思うことを教えてください。



Q9.家庭学習(持ち帰り)等でタブレットやPCを使うことについて、困っていることや不便なことがあれば教えてください。



### 令和5年度重点目標

ICTの特性を生かした新たな学びの拡充 ～児童が自立的に学びを進める学習をめざして～

ICTを安全に、正しく活用できる能力の育成

#### 対応状況

- ・図画工作科において、ビー玉ころがしの様子を動画で撮影し、改善点をグループで話合う実践
- ・道徳科において、アンケート機能を使い、学級の意見をまとめ、グラフによって視覚化
- ・デジタル教科書とノートどちらにも書き込める運用にし、個別に適した学習方法を選択
- ・情報モラルについて、人権擁護委員や民間企業による出前授業の実施

#### 学校における教育DXを推進する好事例

- ・シンキングツールやテキストマイニング等を活用した思考の深化や協働的な学びの充実
- ・協働的な学習推進のための授業づくりの工夫(公開授業による活用事例の共有)
- ・保護者向けのフィルタリングや情報セキュリティについてのマニュアル配布
- ・授業参観等保護者参加の機会を利用した情報モラル向上の取組
- ・ICT活用による業務負担の軽減  
例) 保護者向けアンケート、職員会資料や議事録作成、行事予定、アプリによる欠席連絡等の共有
- ・ICT活用に関する校内研修の工夫  
例) 隙間時間を利用した好事例の共有、新しい機器が導入された際の全体研修

### 令和5年度重点目標

「全教職員で取り組む1人1台端末の活用」～「日常づかい」から「個別最適な学び・協働的な学び」をめざして～

情報セキュリティや健康面に配慮したデジタル技術の適正な活用



### 対応状況

- 生徒の意見や考えをお互いに共有する授業の実施
- 理科の実験や体育の実技等で、動画の記録を活用した考察・振り返り
- 数学科におけるAIドリルの活用や外国語の聞き取り学習等「個別最適な学び」
- 教職員のICTを活用した業務改善や研修観の転換

### 学校における教育DXを推進する好事例

- 教科の授業における新たな協働的な学びの実践  
例) 二次元コードを活用した作品の相互評価、授業支援クラウドアプリの活用した作品の鑑賞
- これまでの実践を生かした、新たなタブレット端末の活用の充実  
例) 面接練習等で動画撮影による振り返り、部活動において動画撮影、委員会活動の発表
- ICTの活用による教員の業務負担の軽減  
例) 作成したプレゼン等の教材の共有と活用、アンケート機能を活用した小テストの実施
- ICTを活用した校内研修の工夫  
例) タブレット端末と授業支援アプリを活用した授業研究会の実施



### 学校の故障端末への対応状況

#### ○タブレット端末を活用した学びの継続について

- ・「情報Ⅰ」においては、CAI教室等で1人1台端末を活用して実習を行うこと
  - ・使用可能なタブレット端末を最大限活用する方法を工夫すること
- を各学校に依頼

- ⇒
- ・「情報Ⅰ」は、端末の集約やCAI教室等のPC活用などで1人1台端末環境で授業実施
  - ・協働的活動の場面では、数人で1台の端末を使用し、ペアワークや班活動を実施
  - ・英語などの個別に端末が必要な場面では、各クラスに共用タブレットを20台ずつ配置、必要に応じて集約し、1人1台端末環境を確保して実施
- などで、対応しているところ

### 今年度の重点目標に対する対応状況

I C Tを活用した双方向型学習活動の実施による、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を推進  
デジタル技術の適正な利活用を通じた積極的に情報社会に参画する能力の習得



### 重点目標に対する取組

#### 学習支援AI教材の導入

学習のつまづき箇所を可視化することで、「個別最適な学び」を支援

#### 英語のAI教材の導入

コミュニケーション能力等の育成を図り、「協働的な学び」を支援

#### 研究授業・利活用のための研修の実施

情報共有・教員の授業力向上

#### 自動採点システムの活用

授業の導入等に活用することにより、即時のフィードバックが可能

デジタル技術等の利活用に関する先導的な事例研究の共有



## 令和5年度重点目標

発達段階や障がい種別に応じたタブレットの利活用の拡充  
～みんなで「I(いつも)C(ちょっと)T(たのしい)」活用を～

発達段階や障がい種別に応じた「情報モラル・セキュリティ教育」の充実



「情報モラル研究会」の様子

## 課題

- ・タブレットを連絡帳等とした活用例の横展開
- ・オンラインの活用による新たな学びや体験の充実
- ・実態に即した「情報モラル・セキュリティ教育」の工夫

## 方策

- ・好事例を周知し、活用方法を共有
- ・コンテンツを洗い出し、学びの機会を拡充

「情報モラル・ターゲット表」の共有と活用による学習の拡充

- 【情報モラル・ターゲット表（一部抜粋）】
- 課題などが必要な時は親に相談する。
  - コメントは相手も気持ちの良い言葉を送る。
  - 家の人とルールをしっかりと決めておく。

## 取組の進捗状況

### ①情報モラル研究会

Teamsで学習成果を共有

各校で学んだ内容をオンラインで共有



情報モラル・ターゲット表を活用した学習成果を共有

#### 【成果】

- ・県内の12校がオンラインでつながり、協働的な学びを創出

#### 【今後の方向性】

- ・情報モラルに関する学習について各校の取組成果を「Teams」で共有

### ②オンラインによる交流

シームレスな学校間交流を拡充

10/17



お接待活動の紹介



生徒主体でオンライン発信

10/19



エンシカル活動の紹介



他校の生徒と交流

#### 【成果】

- ・オンラインをフル活用した「新しい交流の場」を拡充

#### 【今後の方向性】

- ・各校においてコンテンツを洗い出し、特色ある学びを共有

### ③タブレットの活用事例を共有

部会通信による好事例の共有

クラスや教科等での取り組み



MetaMojjiClassRoom Zoom:課題など資料配布や取引

metamoji classroomやTeams等の活用事例を共有



(部会通信)



Microsoft Teams:課題・資料配布、アプリやチャットでの情報共有

みなと高等学園における事例を紹介

#### 【成果】

- ・好事例を共有することにより、他校における活用の横展開を促進

#### 【今後の方向性】

- ・Teamsや部会通信にて、好事例を日常的に共有

# 令和5年度GIGAスクール構想推進本部 【 学びの保障 】部会

## 令和5年度重点目標

- ・「学校外での学びの支援」のための、効果的なICTの活用推進
- ・「中くらいの器」としての『教育支援センター』及び『保健室・別室等』との連携強化



## 取組の進捗状況

### 保健室登校や別室登校の現状

	学校数	事例数
小学校	52	93
中学校	55	210
高校	14	34
特支援	0	0

保健室登校等別室登校の事例があった学校数と事例数

### 授業で活用

- 参加できなかった授業の様子を動画で確認
- MetaMoJi Classroomでの意見交換
- 板書を画像で確認

### ICTを活用した連携

- 「まなびポケット」活用  
→個別メッセージ機能や出欠連絡ツール
- 教育クラウドサービス活用  
→関係者や保護者との情報共有

・児童生徒・保護者の希望に配慮しつつも、本来の保健室の機能が失われないような計画や組織体制が必要

### 特別支援学校の取組

#### 心のサポート

- Microsoft Teamsを活用  
長期欠席の生徒に対する継続した関わり
- ↓
- 教師との信頼関係を築き、  
実際の登校へと繋ぐ取組へ

#### 学びのサポート

- 「職業見学」や「職業体験」での取組  
「オンラインを活用した作業体験」での実践
- ↓
- 作業体験に必要な材料を事前に家庭に準備し、当日は実際の作業風景を配信することで、「職場」の雰囲気を共有

・ICT機器を活用してやりとりをする際に、登校に繋がるような働きかけや、学校に興味を持てるような取組にしていくことが必要

### 教育支援センターでの取組

- Webドリル教材やデジタル教科書  
→各自のペースで学習  
(学び直しに活用)
- 履歴により担任が学習状況を確認  
→学校と繋がり確保
- 書くことが苦手、他人の目が気になる子ども  
→タブレット学習は有効
- 学校とセンターを繋ぐ  
→授業視聴により、内容の確認  
例1

算数のオンライン授業

担任の顔が見えたり、学校行事に参加  
→学校の楽しい雰囲気味わう

学校復帰に繋がった

例2

1週間に1回放課後登校し、担任と学習していた生徒

センターとオンラインでつながることで関係性が増し、登校回数が増加

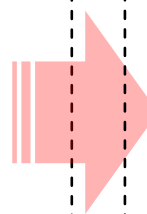
・学習のサポートに至っていない子どもにとっては、タブレット端末を用いて担任との繋がりを求めている

## 令和5年度重点目標

### 持続可能なGIGAスクール構想推進に向けた制度設計の提案

#### 課題

- ・持続可能なGIGAスクール構想推進に向けた、端末機器等の具体的な調達方針の検討



#### 方策

- ・国の動向や、国に対する全国団体からの要望状況について、情報収集を行うとともに、必要に応じて提言を実施
- ・引き続き、他都道府県等への独自調査等を実施し全国状況の把握を行う

## 取組の進捗状況

- 採用OS及び共同調達の実施に関する全国調査を実施
  - ・全国的に3OSが大きな偏り無く採用されている
  - ・約半数の自治体が共同調達を実施(次回に向けては未定のところが多い)
- 政策提言の実施
  - 11月15日、知事が文部科学省を訪問し、政策提言を実施
  - ・高等学校段階における1人1台端末の更新や、ネットワーク環境の充実に対する支援を要望
- 令和5年度国補正予算(案)の発表
  - ・1人1台端末の更新について、都道府県に基金(5年間)を設置し、当面、令和7年度までの更新分に必要な経費を計上。補助基準額:5.5万円/台 予備機率:15% 補助率:3分の2
  - ・都道府県を中心とした共同調達等など、計画的・効率的な端末整備を推進

#### 【今後の対応】

- ・市町村の更新時期を把握し、円滑な更新を実施。

## 令和5年度重点目標

- ・C B Tの効果的なデータ活用の研究



## 課題

- ・実証規模の拡大
- ・学力向上に資する問題としての質の担保

## 方策

- ・実証の効率化を図り、50校程度に拡大
- ・記述式問題や補充問題の設定等を検討

## 取組の進捗状況

### 令和5年度実証の概要

#### (1) 工程

- 7月 実証校(小学校24校、中学校27校)の選定
- 8月 システム登録(問題、ユーザー)、実証校への事前説明会(オンライン)
- 9月 実証校での試行テスト及びアンケートの実施

#### (2) 内容

- ①実施方法 CBTによる試行テスト(選択式・短答式・記述式の解答)を実施 ※紙媒体の問題冊子を併用
- ②対象 小学校4年、5年のいずれか、中学校1年、2年のいずれかで実施(国語、算数・数学)
- ③実施日 9月1日から30日までの任意の1日

➤ 今後、不具合事例等や国の動向を踏まえ、令和6年度の取組について検討



# 令和5年度GIGAスクール構想推進本部【情報モラル・情報セキュリティ対策】部会

## 令和5年度重点目標

### デジタル技術の適正な利活用を通じた積極的に情報社会に参画する能力の習得

#### 課題

- ・情報化の進展に即した情報モラル・情報セキュリティ教育の推進
- ・先端技術の教育実践への適正な利活用と新たなルール作り

#### 方策

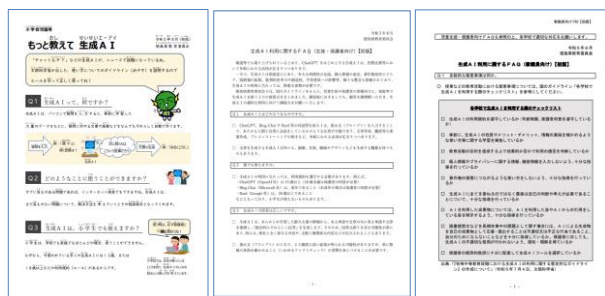
- ・情報モラル・情報セキュリティ教育の「手引き」等の作成
- ・「生成AI」等の利活用に関する先導的な事例研究と「FAQ」の作成
- ・各校種部会と連携して具体的な内容を協議・検討

#### 取組の進捗状況

1. 啓発リーフレットの配布: 夏休み前、情報モラル教育に関するリーフレットを義務教育及び県立学校の保護者に配布。
2. 生成AIに関する情報の周知: 8月、文部科学省の「生成AI利用の暫定的ガイドライン」を基に、児童生徒、保護者、教職員にFAQを作成。
3. 情報モラル教育の支援: 教員が生成AIに関する情報も必要に応じて取得できるよう、総合教育センターのサポートサイトを拡充。
4. 教職員研修の実施: 今年度の目標「全教職員が生成AIの特性を理解する」達成のため、eラーニングによるオンデマンド研修を実施予定。徳島県内の5大学や各校種部会と連携し、研修内容と方法について協議。



1. 情報モラル教育啓発リーフレット



2. 生成AI利用に関するFAQ



3. 情報モラル教育サポートサイト